IntraGuardian2

運用マニュアル

第 1.0版

2015年9月

ネットチャート株式会社

内容

1.	導入編	3
	設定編	
	医	_
3.		5

1. 導入編

導入前に IntraGuardian2+スタートアップガイドの「安全上のご注意」をご確認ください。 機器設置場所は平らな場所に設置してください。

1-1. 準備するもの、本体の名称の確認

- ■準備するもの
 - ・機器本体(同梱されています)
 - ・AC アダプタ(同梱されています)
 - ・アース線(アースを接地する場合。お客様でご用意ください)
 - ・LAN ケーブル(ストレート)(お客様でご用意ください)
 - ・管理用 PC(お客様でご用意ください)

■各部の名称について





- 1 電源 LED
- 2 ステータス LED(1~3)
- 3 シリアルコネクタ(メンテナンス用です。お使いにならないでください)
- 4 電源コネクタ
- 5 LAN コネクタ
- 6 拡張コネクタ(将来の拡張用です。お使いにならないでください)
- 7 USB コネクタ(メンテナンス用です。お使いにならないでください)
- 8 初期化ボタン
- 9 アース
- ※3、6、7の部分はメンテナンス、修理のために指定された技術者のみが使用する部分です。
- ※お客様がこの部分を使われて、機器の不具合が起きた場合には弊社はその不具合または不具合によって 引き起こされた他の機器のシステムへの不具合については一切責任を負いかねます。

1-2. 電源ケーブルの接続

- 1. 付属のアダプタを電源コネクタに接続してください。 本製品に電源が接続されると自動的に起動し電源 LED(緑)が点灯します。 起動処理中はステータス LED1 が赤く点滅します。
- 2. その後 1 分程度で起動が完了するとステータス LED1 が緑色の点滅に変わり、動作可能な状態になります。

1-3. 動作の終了

接続されている IntraGuardian2+の電源ケーブルを抜くと本製品は動作を終了します。 LED が赤く点灯している状態で電源ケーブルを抜く事は避けてください。

1-4. リセット

初期化ボタンを 5 秒以上押すことで、本製品をリセットすることができます。 リセットすると全ての設定が消去され、工場出荷時の状態に戻ります。

2. 設定編

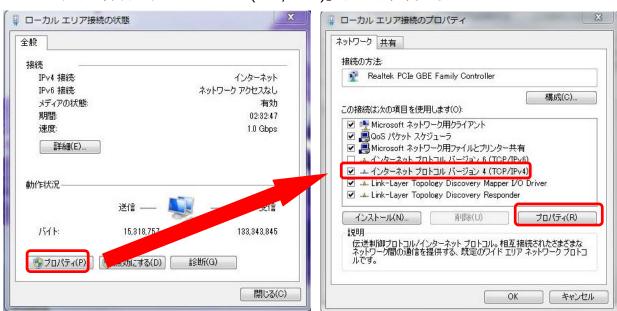
IntraGuardian2の基本設定を行います。

詳細はマニュアルの「IntraGuardian2+_スタートアップガイド」をご確認下さい。

2-1. 管理用 PC のネットワーク準備

本製品の設定を行う際に PC のネットワーク設定を一時的に変更する必要があります。

- 1. コントロールパネルから「ネットワークとインターネット」を開いてください。
- 2. ネットワークとインターネットの画面が出たら「アダプターの設定の変更」をクリックします。
- 3. IntraGuardian2+が接続されているネットワークアダプターをダブルクリックします。
- 4. 「プロパティ」ボタンをクリックするとネットワークアダプターのプロパティのウィンドウが開きますので、「インターネットプロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4)」のプロパティを開いてください。



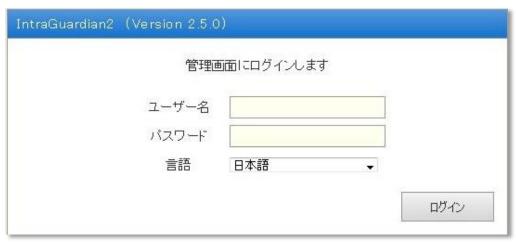
5. 「インターネットプロトコルバージョン 4(TCP/IPv4)のプロパティ」ウィンドウが開きますので、
「次の IP アドレスを使う」を選択し、IP アドレス欄には IntraGuardian2+に設定されている
IP アドレスを同一のネットワークの IP アドレスを入力します。
サブネットマスクには IntraGuardian2+に設定されているネットマスクを入力します。
IP アドレスとサブネットマスクを入力したら、「OK ボタンをクリックします。

2-2. IntraGuardian2 の管理画面に接続

- 1. 管理画面にアクセスするために、管理用 PCで WEB ブラウザを起動します。
- 2. IntraGuardian2+に設定されている IP アドレスをブラウザのアドレス欄に入力し IntraGuardian2+にアクセスします。
- 3. ログイン画面がブラウザに表示されます。

- 4. ユーザー名とパスワードを入力して、[ログイン] ボタンをクリックして管理画面にログインします。
 - ユーザー名とパスワードは出荷時に以下の通りに設定されています。

ユーザー名: admin パスワード: admin



2-3. IntraGuardian2 の IP アドレスを設定

1. メニューから「設置設定」をクリックすると、本製品の IP アドレスを設定する画面が表示されます。 各項目の設定を行います。



※ネームサーバは2つまで入力する事ができます。ネームサーバが利用できない場合には2つとも空欄にしても構いませんが、メール送信サーバやタイムサーバなどをホスト名で指定することができなくなります。また、DNS による名前解決機能が動作しなくなります。

2-4. 既存 PC の登録

- 1. メニューから「不正接続 PC 一覧」を押します。
- 2. ネットワーク内の既存 PC が不正接続 PC として一覧表示されます。
- 3. 既存 PC を個別に登録する場合は、登録する PC 欄右端の[登録]ボタンを押します。 全件一括で登録する場合には、画面最下部の[全件登録]ボタンを押します。



4. 各項目を入力し、登録ボタンを押します。 その後、登録した機器は不正接続 PC 一覧から消去されます。



2-5. 動作設定

- 1. メニューから「動作設定」を押します。
- 2. 動作設定画面が表示されるので、動作モードを選択します。



3. 画面最下部にある[確定]ボタンを押下すると、設定が変更/反映されます。

詳細の設定方法についてはマニュアルをご確認ください。

3. 運用編

想定される IntraGuardian2+の運用方法について記載しています。

3-1. メール通知を使用する場合

通知された MAC アドレス・IP アドレスが接続許可するものであれば、登録します。

登録方法は本手順書の「2-4. 既存 PC の登録」をご確認ください。

接続許可しない(不正)機器であれば無視、または対象機器をネットワークから外します。

※対象機器に不正接続一覧に表示されるコンピュータ名、IP アドレス等から探してください。

■メールの通知内容■

※件名は、IntraGuardian2+の通知設定で変更可能です。

件名:【IntraGuardian2】不正接続検知

不正な端末の接続を検知しました。

【 MAC アドレス 】XX:XX:XX:XX:XX

【 ベンダー 】XXXX

【 IPアドレス 】XX.XX.XX.XX

【コンピュータ名】XXXX

【ワークグループ】XXXX

【 検知日時 】YYYY/MM/DD 00:00:00

http://[IG2 IP アドレス]/

- ・MAC アドレス:不正検知された機器の MAC アドレスを表示します。
- ・ベンダー: MAC アドレスよりベンダーコードを表示します。
- ・IP アドレス:不正検知された機器の IP アドレスを表示します。
- ・コンピュータ名: NetBIOS より取得します。※取得されない場合もあります。
- ・ワークグループ: NetBIOS より取得します。※取得されない場合もあります。
- ・検知日時:不正検知された日時を表示します。
- ・状態:動作モードにて設定している動作モードを表示します。

3-2. メール通知を使用しない場合

定期的に不正接続一覧を確認します。

検知された機器を登録、または無視、対象機器をネットワークから外します。



3-3. ユーザ様から「接続できない」という連絡があった場合

- ユーザ様が接続できない機器は接続許可して良い端末であれば、不正接続一覧から登録を行います。
- 1. メニューから「不正接続 PC 一覧」を押します。
- 2. ネットワーク内の既存 PC が不正接続 PC として一覧表示されます。
- 3. 既存 PC を個別に登録する場合は、登録する PC 欄右端の[登録]ボタンを押します。



4. 対象の PC が本製品に登録され、不正接続 PC 一覧から消去されます。

3-4. 新規に PC を導入する場合

1. 「登録済み PC 一覧」から[新規登録]ボタンより機器の登録を行います。



2. それぞれの項目を入力し、[登録]ボタンを押します。



3-5. 使用しない機器を撤去する場合

- 1. 「登録 PC 一覧」を表示します。
- 2. 削除する機器を選択し[選択削除]ボタンより削除します。 登録 PC 一覧に登録されている機器全て削除する場合には[全件削除]ボタンより可能です。



3-6. 保守等で MAC アドレスを変更する場合

- 1. 「登録 PC 一覧」より、MAC アドレスを変更する対象機器を選択します。
- 2. [編集]ボタンより項目を編集します。



3. MAC アドレスを変更し、[確定]ボタンを押します。 ※MAC アドレス以外の項目も編集する事が可能です。

